

あけましておめでとうございます。

本年も、おたよりを通して、学校でのさまざまな食育の取組や情報などをお知らせしていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。1月には全国学校給食週間があります。おうちの人が子どもの頃の給食のことや、印象に残っている出来事など、家庭での話題にあげてみてください。



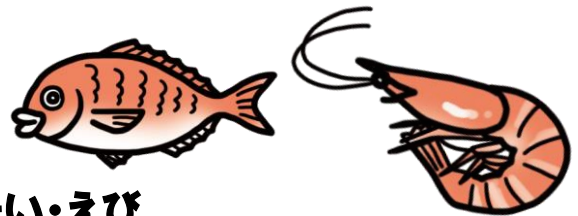
## お正月料理の由来を知っていますか？

お正月に食べるお祝い料理を「おせち料理」といいます。それぞれの料理には、新しい年への願いが込められています。さらにお正月は台所仕事をひと休みして、家族でなるべくゆっくりしたいという意味もあり、温めなおさないで食べられ、日持ちする料理が多いです。



### 田作り・たたきごぼう

いわしは昔、田の肥料に使われました。ごぼうは伝説の黒いめでたい鳥「瑞鳥(ずいちょう)」に見立て、どちらも豊作を願って食べられます。



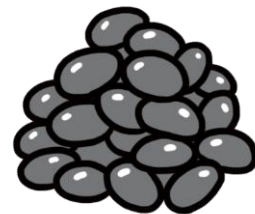
### たい・えび

どちらも赤く華やかな色をしています。たいは「めでたい」とかけ、えびは「腰が曲がるまで長生きできますように」と願って食べられます。



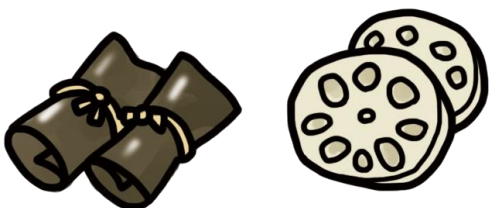
### だて巻き・きんとん

だて巻きは巻物に似ているので「知識が増えて頭がよくなるように」、きんとんは金に見立てて「お金に困りませんように」と願って食べられます。



### 黒豆

黒には魔除けの力があるとされていました。そして「まめで健康に過ごせますように」と願って食べられます。



### 昆布巻き・れんこん

昆布巻きは「よろこぶ」に、れんこんは「見通しがきく」と、縁起のよいものとして食べられます。



### 数の子・さといも・八つ頭

どれも卵やいもの数が多いことから、子孫繁栄を願って食べられます。

が っ か に ち ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん  
**1月24日～30日は「全国学校給食週間」**

日本の学校給食の始まりは、明治22年までさかのぼります。山形県鶴岡町（現在の鶴岡市）にある大督寺というお寺に開校された私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこれない子どもたちのために、食事を提供したのが始まりとされています。その後、全国各地へと学校給食が広がっていきましたが、戦争の影響で中断されてしまいました。

戦争が終わり、子どもたちの栄養状態を改善するために、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）からの援助物資で学校給食が再開されることになりました。そして、昭和21年12月24日に給食用物資の贈呈式が行われ、この日を「学校給食感謝の日」とすることが定められました。昭和25年度からは冬休みと重ならない1月24日～30日の1週間を「全国学校給食週間」とし、学校給食の意義や役割について理解や関心を高めることなどを目的に、毎年、全国でさまざまな行事が行われます。

<p><b>学校給食の7つの目標</b>          ～学校給食法より～</p>	<p>健康な体をつくる</p>	<p>望ましい食生活のお手本になる</p>	<p>助け合い、協力し合う社会性を身につける</p>
<p>自然の恵みに感謝する心を育てる</p>	<p>働くことを尊び、感謝する心を育てる</p>	<p>地域の食文化を知り、未来に伝える</p>	<p>食を通して社会のしくみを学ぶ</p>

## 日本の年中行事と食

日本にはさまざまな年中行事があり、多くの行事でそれにちなんだ食事が食べられています。同じ年中行事でも、地域によって食べる料理や味付け、食材が異なるものもあります。

- 1月：鏡もち 雑煮 おせち料理（正月 1日）  
 七草がゆ（7日） ， 雑煮 しるこ（鏡開き 11日）
- 2月：恵方巻き（節分 3日）
- 3月：ひしもち 甘酒 ひなあられ（桃の節句 3日） ， ぼたもち（彼岸 21日頃）
- 5月：ちまき かしわもち（端午の節句 5日）
- 7月：そうめん（七夕 7日） ， うなぎ（土用の丑の日）
- 9月：月見だんご 里芋（十五夜 15日頃） ， おはぎ（彼岸 23日頃）
- 12月：かぼちゃ（冬至 22日頃） ， 年越しそば（大晦日 31日）